

2024年1月18日

「がんばれ！日本の絆 今こそ強く」

林 但

12月28日から開催された第102回全国高校サッカー選手権3回戦で、神奈川県代表として出場した日大藤沢高校が、能登半島を襲った大地震の影響で応援団が駆けつけられなくなった石川県・星稜高校の代理応援を買って出た。チームは2回戦で敗退（後に準優勝となった近江にPK戦で敗れる）となったが、事情を知った同校の有志が約50人の「即席応援団『星稜を応援したい』」を結成。敵、味方の垣根を超えてスタンドからエールを送る姿にSNS上では感動の声が相次いだ。18日の朝日新聞地域総合面（20面）「かながわ スポーツ」に応援に駆けつけるまでの生徒さんたちの行動、学校他関係者との調整他など状況が掲載されており一気に読み入ってしまいました。

監督が普段からサッカーファミリーとしてサッカーの仲間を応援する大切さを言い続けておられたとの事。「苦しい時こそ人の本性が出る、そういう時にどう行動するか」と伝え、サッカーを通じて人間力の成長を目指してこられた。昨年11月に受講した神奈川県体育センターの講座で学んだ、今指導者に求められるのは、「よりよい信頼関係構築のため」思考判断や態度行動を含む人間力が必要。また、スポーツをする効果は、文部科学省や日本スポーツ協会など規定しているが、子供の人間形成に寄与する。米国では指導者は米国スポーツ教育プログラムを必ず受講することが義務付けられている。「選手が第一、勝利は第二」の考え方である。

今回のこの新聞記事他を読み、夏の高校野球で優勝した慶應義塾大学付属高校の監督さん、日本大学付属藤沢高校といい神奈川県にはよい指導者がおられ心強く感じています。



1月18日 朝日新聞



星稜高校のチームカラーと同じ黄色のごみ袋で作った応援ユニフォーム（タウンニュース藤沢版）



タウンニュース藤沢版

以上